



2015年家政学部第4問

4 1辺の長さが1の正六角形の頂点の1つをAとする。頂点Aを出発し、正六角形の辺上を時計回りに動く点Pがある。1個のさいころを投げて、1または6の目が出たときには点Pは2だけ進み、他の目が出たときには点Pは1だけ進む。さいころを繰り返し投げ、点Pが頂点Aにもどるか、頂点Aを通り越したら、さいころ投げは終了する。さいころ投げが終了したとき、点Pが頂点Aにある確率を求めよ。